

# 2024年9月期第2四半期連結決算 補足資料

---

2024年5月9日

富士製薬工業株式会社

東証プライム 4554



**FujiPharma**

# 2024年9月期第2四半期連結決算および通期予想サマリー

単位：百万円	第2四半期（上期）			通期		
	実績	前期比 (増減率)	計画比 <sup>(注1)</sup> (増減率)	見通し	前期比 (増減率)	計画比 <sup>(注1)</sup> (増減率)
売上高	21,388	+2,162 (11.2%)	▲2,284 (▲9.6%)	46,060	+5,171 (12.6%)	▲2,866 (▲5.9%)
EBITDAR (注2)	4,716	+228 (5.1%)	—	11,252	+1,501 (15.4%)	▲588 (▲5.0%)
営業利益	1,443	▲380 (▲20.9%)	▲607 (▲29.6%)	3,990	+132 (3.4%)	▲917 (▲18.7%)
純利益	4,257	+2,485 (140.2%)	+122 (3.0%)	6,185	+2,750 (80.1%)	±0

注1：2023年11月27日付「投資有価証券売却益(特別利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」ベース

注2：EBITDAR = 本業によるキャッシュ創出力の指標（営業利益 + 減価償却費（設備リース費含む） + 研究開発費）

## ➤ 売上高

女性医療分野の主力製品の市場浸透は概ね順調に進捗し、上期連結売上高は前年同期比21.6億円増（+11.2%）。一方計画比では期首に見込んだ一部主力製品の処方獲得の遅れにより22.8億円減（▲9.6%）。

## ➤ 営業利益

上期連結営業利益は前年同期比3.8億円減（▲20.9%）。要因は以下3点。

- 承認申請中の月経困難症治療薬FSN-013の開発マイルストンの支払い
- 次世代更年期障害治療薬PH-80の日本における開発・販売の独占交渉権
- 2024年5月薬価収載予定の「ウステキヌマブ BS 皮下注45mg」の販売体制構築費用

計画比では売上高の減少等により6.0億円減（▲29.6%）。

本業によるキャッシュ創出力の指標であるEBITDARは前期比2.28億円増（+5.1%）

注：EBITDAR = 営業利益 + 減価償却費（設備リース費含む） + 研究開発費

## ➤ 純利益

投資有価証券の売却益などを特別利益に計上したことにより親会社株主に帰属する上期連結純利益は前年同期比24.8億円増（+140.2%）、計画比1.2億円増（+3.0%）。

## ➤ 売上高

下期は、女性医療分野の主力製品の市場浸透が着実に進んでいること、また、期首想定どおり、2024年4月の薬価改定率がプラス改定となったことなどから、ほぼ計画どおりの進捗を見込む。

通期は前期比では51.7億円増（+12.6%）、計画比は上期減の影響により28.6億円減（▲5.9%）。

## ➤ 営業利益

前期比1.3億円増（+3.4%）の見込み。

一方、計画比では、売上高の減少ならびに研究開発費の増加などにより、通期の連結営業利益は計画比9.1億円減（▲18.7%）。

本業によるキャッシュ創出力の指標である**EBITDAR**は前期比15.0億円増（+15.4%）

注：EBITDAR = 営業利益 + 減価償却費（設備リース費含む） + 研究開発費

## ➤ 純利益

有価証券評価益等により通期の当期純利益は計画どおり。

# 領域別売上高

事業領域別 (百万円)	22/9月期上期 (新会計基準)	23/9月期上期 (新会計基準)	24/9月期上期 (新会計基準)	前期比		構成 比率
				増減額	増減率	
女性医療	6,384	8,091	<b>9,266</b>	1,174	14.5%	43.3%
急性期医療	7,989	7,284	<b>8,139</b>	854	11.7%	38.1%
その他	1,949	1,884	<b>2,039</b>	154	8.2%	9.5%
海外事業 (OLIC社)	1,403	1,965	<b>1,943</b>	▲ 21	-1.1%	9.1%
合計	17,726	19,225	<b>21,388</b>	2,162	11.2%	100.0%

※海外事業 (OLIC社) は連結調整後の金額

# 女性医療売上高

女性医療 (百万円)	22/9月期 上期	23/9月期 上期	24/9月期 上期	前期比		構成 比率
				増減額	増減率	
不妊症治療剤	1,650	2,052	<b>2,186</b>	133	6.5%	23.6%
経口避妊剤	1,697	1,807	<b>1,886</b>	78	4.4%	20.4%
更年期障害治療剤	328	1,141	<b>1,666</b>	525	46.0%	18.0%
子宮内膜症治療剤	1,211	1,340	<b>1,262</b>	▲ 78	-5.8%	13.6%
抗がん剤	-	451	<b>909</b>	457	101.2%	9.8%
月経困難症治療剤	519	447	<b>535</b>	87	19.5%	5.8%
その他	976	849	<b>819</b>	▲ 29	-3.5%	8.8%
合計	6,384	8,091	<b>9,266</b>	1,174	14.5%	100.0%

## ● エフメノ®カプセル100mg

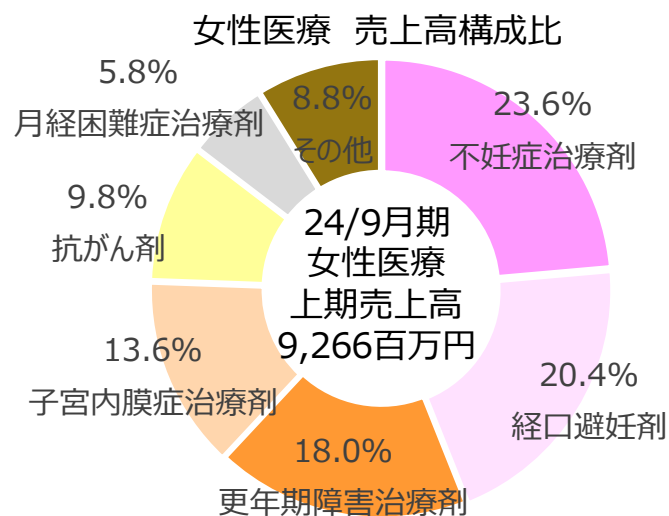
- 主に更年期障害専門医における処方獲得が着実に進み売上高前期比40%増
- 更年期障害非専門医を中心に期初の期待レベルに達しておらず前期比80%増は達成できず

## ● ウトロゲスタン®腔用カプセル200mg

- 不妊治療の保険適用による市場の拡大に伴い黄体ホルモンの使用も順調に拡大
- 前期発生した他社欠品に伴う一過性の仮需が沈静化し、市場シェアは維持も計画ほどの増加には至らず

## ● 経口避妊薬（ファボワール®錠、ラベルフィーユ®錠）

- 新製剤棟で製造した製品の品質確認に時間を要し予定よりも出荷が遅延
- 積極的なプロモーション活動を控えた結果、第2四半期連結累計期間では計画値を下回る
- バックアップ体制として既存製剤棟で増産を実施しており、下期は旺盛な需要に可能な限り対応予定 6



# 急性期医療売上高

急性期医療 (百万円)	22/9月期 上期	23/9月期 上期	24/9月期 上期	前期比		構成 比率
				増減額	増減率	
造影剤	4,364	4,176	<b>4,760</b>	583	14.0%	58.5%
バイオシミラー	880	825	<b>871</b>	46	5.6%	10.7%
抗がん剤	706	524	<b>540</b>	15	2.9%	6.6%
その他	2,037	1,756	<b>1,966</b>	209	11.9%	24.2%
合計	7,989	7,284	<b>8,139</b>	854	11.7%	100.0%

---

# Appendix



# 2024年9月期第2四半期連結決算概要

(百万円)	23/9期上期	24/9期上期	前期比		24/9期 期初上期予想	予想比 達成率	24/9期 修正後 通期予想	修正後 通期予想比 進捗率
			増減額	増減率				
売上高	19,225	<b>21,388</b>	2,162	11.2%	<b>23,672</b>	90.4%	<b>46,060</b>	46.4%
売上総利益	7,623	<b>8,233</b>	610	8.0%	-	-	-	-
粗利益率	39.7%	<b>38.5%</b>	-	-	-	-	-	-
販売管理費	5,799	<b>6,789</b>	990	17.1%	-	-	-	-
販売管理費率	30.2%	<b>31.7%</b>	-	-	-	-	-	-
営業利益	1,824	<b>1,443</b>	▲ 380	-20.9%	<b>2,050</b>	70.4%	<b>3,990</b>	36.2%
営業利益率	9.5%	<b>6.7%</b>	-	-	<b>8.7%</b>		<b>8.7%</b>	-
経常利益	2,456	<b>2,165</b>	▲ 290	-11.8%	<b>2,793</b>	77.5%	<b>4,602</b>	47.0%
経常利益率	12.8%	<b>10.1%</b>	-	-	<b>11.8%</b>		<b>10.0%</b>	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,772	<b>4,257</b>	2,485	140.2%	<b>4,135</b>	103.0%	<b>6,185</b>	68.8%
四半期純利益率	9.2%	<b>19.9%</b>	-	-	<b>17.5%</b>		<b>13.4%</b>	-
EBITDAR <sup>*1</sup>	4,487	<b>4,716</b>	228	5.1%			<b>11,251</b>	41.9%
EBITDA <sup>*2</sup>	3,119	<b>2,990</b>	▲ 128	-4.1%			<b>7,082</b>	42.2%
設備投資額	1,088	<b>1,855</b>	766	70.5%			<b>5,025</b>	36.9%
減価償却費（設備リース費含む）	1,294	<b>1,546</b>	251	19.5%			<b>3,092</b>	50.0%
研究開発費	1,368	<b>1,726</b>	357	26.2%			<b>4,168</b>	41.4%
研究開発費率	7.1%	<b>8.1%</b>	-	-			<b>9.0%</b>	-

\* 1) EBITDAR：営業利益 + 減価償却費（設備リース費含む） + 研究開発費

\* 2) EBITDA：営業利益 + 減価償却費（設備リース費含む）

# 上位15製品売上高

製品名 (百万円)	分類	22/9月期上期 (新会計基準)	23/9月期上期 (新会計基準)	24/9月期上期 (新会計基準)	前期比		24/9期 修正後 通期予想
					増減額	増減率	
イオパミドール注	造影剤	3,057	2,891	<b>3,339</b>	448	15.5%	6,841
エフメノ®カプセル	更年期障害治療	117	918	<b>1,267</b>	349	38.0%	3,324
◆ウトロゲスタン®腔用カプセル	不妊症治療	582	1,113	<b>1,135</b>	22	2.0%	2,452
ドキシル®注	抗がん剤治療	-	451	<b>909</b>	458	101.6%	1,910
ジエノゲスト錠	子宮内膜症治療	812	857	<b>900</b>	43	5.0%	1,820
フィルグラスチムBS注シリンジ	抗がん剤治療	880	825	<b>871</b>	46	5.6%	1,770
ファボワール®錠	経口避妊	749	834	<b>828</b>	▲ 6	-0.7%	1,972
イオヘキソール注	造影剤	896	724	<b>745</b>	21	2.9%	1,543
ラベルフィーユ®錠	経口避妊	500	539	<b>558</b>	19	3.5%	1,164
デキサート®注射液	その他	418	441	<b>537</b>	96	21.8%	1,365
フォリアミン®錠/散/注	その他	304	403	<b>499</b>	96	23.8%	892
レボノルゲストレル錠	緊急避妊	447	433	<b>499</b>	66	15.2%	999
ルナベル®配合錠(LD/ULD)	月経困難症治療	470	403	<b>424</b>	21	5.2%	904
ブセレリン点鼻液	子宮内膜症治療	252	416	<b>361</b>	▲ 55	-13.2%	978
◆HMG注射用	不妊症治療	406	297	<b>349</b>	52	17.5%	916
上位15製品合計		9,897	11,553	<b>13,229</b>	1,676	14.5%	28,853
売上高に占める構成比		55.8%	60.1%	61.9%			62.6%
その他の製品		6,425	5,707	<b>6,214</b>	507	8.9%	13,405
海外事業 (OLIC社)		1,403	1,969	<b>1,943</b>	▲ 26	-1.3%	3,801
合計		17,726	19,229	<b>21,388</b>	2,159	11.2%	46,060

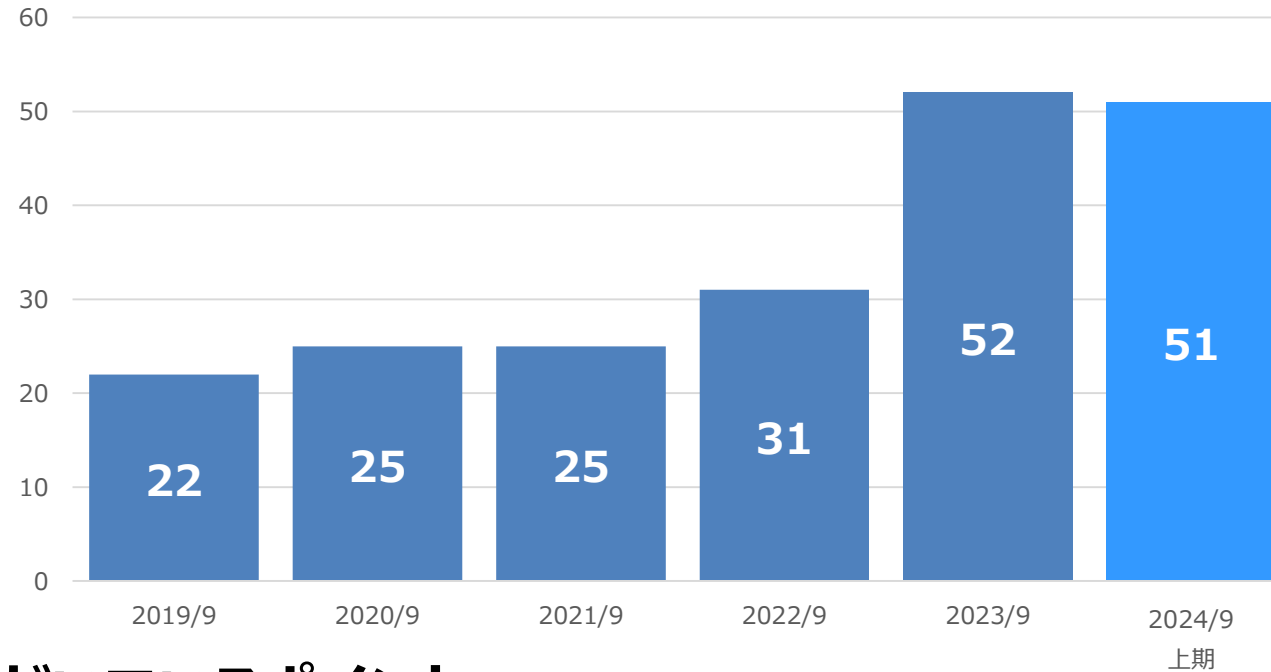
急性期医療 女性医療

◆不妊症治療薬

※下線製品は、当社でのブランド薬（ブランド薬・ブランドジェネリック（承継品）・バイオシミラー）

※海外事業（OLIC社）は連結調整後の金額

機関投資家・アナリストとの面談数（当社会計期間毎）



### ● 注目いただいているポイント

- 領域特化の姿勢は変わらず、ジェネリック中心から新薬・バイオシミラー中心の高付加価値型への転換
- 女性医療領域の今後の展望、成長ドライバー
- バイオシミラー事業の進捗、今後の展開

## 予想および見通しに関するご注意事項

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。また、本資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

### 連絡先

---

富士製薬工業株式会社 経営戦略本部 経営企画部 経営企画課

**E-Mail** : [fsk\\_ir@fujipharma.jp](mailto:fsk_ir@fujipharma.jp)

**U R L** : <https://www.fujipharma.jp/>